

福岡県剣道連盟 居合道だより

第065号 平成23年12月1日発行
発行 (社)福岡県剣道連盟居合部
<http://iai.riai.info/>
発行人 迫野 康雄
〒807-0842 北九州市八幡西区永大丸東町3-16-13
Tel:093-612-1512
編集人 上田 武尚
〒800-0201 北九州市小倉南区上吉田2-2-16
Tel:093-473-7323

はじめに

武道に大・強・速・軽の教えがあって、修行の順序段階を表したことばである。初めから大・強・速・軽のすべてを同時に体得することはむずかしい。初心者は大・強を心掛けて大技（おおわざ）大技（おおわざ）をめざして稽古に励めば、修行の進歩につれて速・軽が自然と備わるものである。

主な出来事

11/19 居合道段位審査会（6・7段）

東京都

	受審者数	合格者数	合格率	指定技
6 段	219名	47名	21.5%	3本目・6本目・10本目
7 段	112名	20名	17.9%	3本目・6本目・10本目

福岡県より6段に5名、7段に2名がチャレンジしましたが、残念ながら合格者は出ませんでした。各県の合格者数は以下の通り。

6段の部

秋田	1名	福島	3名	茨城	3名
栃木	2名	埼玉	5名	東京	8名
千葉	2名	神奈川	4名	山梨	1名
石川	1名	静岡	1名	愛知	2名
京都	4名	岡山	2名	広島	1名
香川	2名	高知	1名	佐賀	1名
長崎	2名	国際	1名	合計	47名

7段の部

北海道	4名	秋田	1名	山形	2名
宮城	1名	福島	1名	東京	2名
千葉	1名	神奈川	3名	大阪	1名
鳥取	1名	愛媛	1名	高知	2名
				合計	20名

12・1月の予定

12/11(日) 居合道部錬成会 級審査会
1/22(日) 初稽古会・理事会

かすやドーム
福岡武道館

2011.10.3 和4

歴女 漫画に刻んだ命

24歳 がんて死去した渋谷さん

大分の合戦舞台 小中教材に



戦国時代の歴史が大好きで、大分の女性がかんていながら描き上げた歴史漫画が、世に出るようになった。「地獄の旗を広める手助けをしたい」と、24歳で亡くなるまでさまざまな企画を練り続けた。女性高山市の茨倉里恵さん、幼い頃から歴史を愛する。1987年に、九州平

制作は、2009年9月、合戦の史跡を巡るツアーで知り合った大分市議員の清原真人さん(69)から依頼を受けて始まった。とこのころ、その後、有屋恵さん(65)は異変を感じ、高野が書き、検査する「高野リンパ腫」。1カ月の間、恵さんを中心とした抗がん剤治療が始まった。いつかは、快方に向かったが、昨年10月に再び悪化。大量の抗がん剤を投与するこには、た。当時、清原さんに送ったメルに「ごめんね、私の命の全部、描いた作品が大の苦しみのお役に立って欲しい」と思っていた。こんな心強いことありません」

制作は、2009年9月、合戦の史跡を巡るツアーで知り合った大分市議員の清原真人さん(69)から依頼を受けて始まった。とこのころ、その後、有屋恵さん(65)は異変を感じ、高野が書き、検査する「高野リンパ腫」。1カ月の間、恵さんを中心とした抗がん剤治療が始まった。いつかは、快方に向かったが、昨年10月に再び悪化。大量の抗がん剤を投与するこには、た。当時、清原さんに送ったメルに「ごめんね、私の命の全部、描いた作品が大の苦しみのお役に立って欲しい」と思っていた。こんな心強いことありません」

制作は、2009年9月、合戦の史跡を巡るツアーで知り合った大分市議員の清原真人さん(69)から依頼を受けて始まった。とこのころ、その後、有屋恵さん(65)は異変を感じ、高野が書き、検査する「高野リンパ腫」。1カ月の間、恵さんを中心とした抗がん剤治療が始まった。いつかは、快方に向かったが、昨年10月に再び悪化。大量の抗がん剤を投与するこには、た。当時、清原さんに送ったメルに「ごめんね、私の命の全部、描いた作品が大の苦しみのお役に立って欲しい」と思っていた。こんな心強いことありません」

制作は、2009年9月、合戦の史跡を巡るツアーで知り合った大分市議員の清原真人さん(69)から依頼を受けて始まった。とこのころ、その後、有屋恵さん(65)は異変を感じ、高野が書き、検査する「高野リンパ腫」。1カ月の間、恵さんを中心とした抗がん剤治療が始まった。いつかは、快方に向かったが、昨年10月に再び悪化。大量の抗がん剤を投与するこには、た。当時、清原さんに送ったメルに「ごめんね、私の命の全部、描いた作品が大の苦しみのお役に立って欲しい」と思っていた。こんな心強いことありません」

朝日新聞に左の様な記事が紹介された。

彼女とは、なんら顔見知りの者では無いが同じ居合道を志す者として、大変誇らしく感じるのは私だけだろうか？

最後の力を振り絞り、歴史の1ページを教材として残された渋谷さんに頭の下がる思いです。お元気であれば、北九州居合道大会などでお目にかかれたかも知れませんね。

本の入手は大変困難だと思いますが、何かの機会で見ることが有りましたら、こんなエピソードが隠されていることを思い出して戴けたらと思い紹介しました。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

万里一空



「万理一空 求め精進」 琴奨菊、大関昇進

日本相撲協会は28日午前、東京・国技館で九州場所(11月13日初日、福岡国際センター)の審判編成会議と臨時理事会を開き、東関部琴奨菊(27)一本名術次(きくつぎ)一弘、福岡県出身、佐渡ヶ嶽部屋への大関昇進を決めた。日本大関の誕生は平成以来、4年ぶり。理事会の終了後、協会から二所ノ懸理事(元関脇金剛)と陣崎親方(元幕内三杉彌)が、千葉県松戸市の佐渡ヶ嶽部屋を訪れ、昇進を伝えた。琴奨菊は「謹んでお受けいたします。大関の地位を承さぬよう、万理一空(ばんりいっくう)の境地を求めて日々努力、精進いたします」と口上を述べた。一写真、赤坂行撮影。「万理一空」は、剣豪宮本武蔵の兵法書から引用した。「すべての理(ことわり)は一つの空(くわ)つながついていく。どんな努力も目指す先は一つ、努力の先に光がある」と、迷いなく進む思いを込めた。

福岡県出身の大関魁皇が現役を引退し、大相撲への興味が薄れ掛けたが、琴奨菊が見事大関昇進を果たし、11月の九州場所を大いに沸かせてくれた。琴奨菊は大関昇進に『万里一空の境地を求め精進』と口上しました。この万里一空とは新聞にも説明されていますが、宮本武蔵の兵法書『兵法三十五箇条』の最後に万里一空の事とあり、教えは「万里一空の所、書きあらはしがたき候らえば、おのずから御工夫なさるべきものなり」と結んでいる。自分で探し求めるしか得られぬものですが、少々努力では得られぬものと、ご理解されたし。